

先生のための春の経済教室 —授業に役立つ経済学—  
エコノミストと考えるサステナビリティの視点を生かした授業のつくり方  
—サステナビリティの経済哲学—

世界は紛争や貧困、気候変動、感染症など、数多くの課題に直面しています。その解決を目指す「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」が国連によって採択され、学校教育のなかでも、ひろく取り組まれてきました。

春の経済教室では、『サステナビリティの経済哲学』(岩波新書)でこれまでとは異なる「新しい資本主義」、「新しい社会主義」の構想を提起された東京大学の松島斉先生をお招きして、改めて SDGsの教育実践の基盤となるサステナビリティの視点を生かした授業づくりを考えていきます。これからの社会のあり方や、サステナビリティの教育や授業実践に関心のある社会科・公民科、家庭科、商業科の先生方、ひろく教育に関心のあるみなさまの積極的な参加を期待しています。

ところ：慶應義塾大学三田キャンパス北館 3 階大会議室+オンライン (Zoom 形式)  
(先着 50 名) (100 名)  
とき：2025 年 3 月 29 日(土) 13:00~17:00

参加費：無料 (先着順 3/20 締切:お申し込み後 前日に Zoom の URL をお送りします。  
三田キャンパス北館会議室へのお申し込みは 50 名に達し次第、受付終了します。)

《プログラム》

進行：杉浦 光紀(東京都立新宿山吹高等学校 主任教諭)

12:30~13:00 受付

13:00~13:10 主催者挨拶と趣旨説明

13:10~14:40 講演「サステナビリティの経済哲学」

—サステナビリティの考え方を中高生にどう伝えるか—

松島 斉(東京大学大学院経済学研究科 教授)

14:40~15:10 講演への質疑

15:10~15:30 休憩

15:30~16:50 授業提案と討論

「サステナビリティの視点を生かした授業をどうつくるか」

出席者 問題提起 杉田 孝之(千葉県立津田沼高等学校 教諭)

授業提案 阿部 孝哉(大阪府吹田市立豊津中学校 教諭)

授業提案 蘆名 伸明(埼玉県立飯能高等学校 教諭)

16:50~17:00 まとめ



松島 斉先生

主催：経済教育ネットワーク <https://econ-edu.net/>

共催：株式会社東京証券取引所(株式会社日本取引所グループ)

【お申込み・問い合わせ先】 経済教育ネットワーク京都分室 FAX (075)256-3006

お申し込みフォーム <https://econ-edu.net/application/event-application/>

後援：J-FLEC(金融経済教育推進機構)、神奈川県教育委員会、千葉県教育委員会、  
埼玉県教育委員会、東京都公民科・社会科教育研究会、  
東京都高等学校「倫理」「公共」研究会、東京都中学校社会科教育研究会(以上申請中)

QR コードから  
もお申し込み  
いただけます。



講演・講師紹介 松島 斉 先生 東京大学大学院経済学研究科教授(経済学博士)

専門 経済学、ゲーム理論、メカニズムデザイン

著書・論文 『サステナビリティの経済哲学』(岩波新書)、『ゲーム理論はアート』(日本評論社)

プロフィール 東京大学大学院経済研究博士課程修了。経済学博士。筑波大学社会工学系助教授、東京大学大学院経済学研究科助教授を経て、現在、東京大学大学院経済学研究科教授。東京大学大学院経済学研究科社会的共通資本寄付講座特任教授。理論経済学の国際学会であるエコノミトリック・ソサエティの終身会員(フェロー)